

詩歌を読む4ステップ



詩
色・音・動き・比喩・繰り返しなどの表現に注目。

短歌
五・七・五・七・七を基本に、情景と心情のつながりを見る。

俳句
五・七・五を基本に、季語や切れ、短い言葉の効果を見る。

鑑賞は「感じたこと」だけで終わらず、作品中のどの表現からそう考えたのかを確かめよう。

鑑賞の4ステップ

問1 基礎

次の四つを正しい順番に並べなさい。

ア 心情を考える **イ** 根拠を使って鑑賞する **ウ** 表現を見つける **エ** 情景を思い浮かべる

解答：ウ→エ→ア→イ

補足：表現を手がかりに情景を捉え、その情景から心情を考え、最後に根拠を示して鑑賞する。

注目する表現

問2 基礎

詩歌の情景を思い浮かべる手がかりとして最も適切なものはどれですか。

ア 色や音や動きを表す言葉 **イ** 作品を書いた紙の大きさ **ウ** 問題用紙のページ番号

解答：ア

補足：色や音や動きを表す言葉は、場面を具体的に想像する手がかりになる。

詩・短歌・俳句の違い

問3 基礎

詩・短歌・俳句について正しい説明はどれですか。

ア 短歌は五・七・五・七・七を基本とする **イ** 俳句は必ず三十一音で作る **ウ** 詩には必ず季語を入れる

解答：ア

補足：短歌は五・七・五・七・七の三十一音を基本とする。俳句は五・七・五の十七音を基本とする。

確認問題

問4 基礎

次の表現から読み取りやすいことはどれですか。『夕焼けが校舎の窓を赤く染めた』

ア 時間帯や光の様子 **イ** 話し手の名前 **ウ** 校舎の階数

解答：ア

補足：『夕焼け』『赤く染めた』から夕方の光景を読み取ることができる。